

外国語活動学習指導案

単元名 alphabet アルファベットで文字遊びをしよう
(2/5)

日時 平成29年10月18日(水) 3校時
指導者 T1 安達 由美子
T2 水 千映
ALT Alyssa Erme

(1) 本単元の構想

単元の見どころ

- ・身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付くとともに、アルファベットを識別し、文字の読み方に慣れ親しむ。 **【知識・技能】**
- ・アルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 **【思考・判断・表現】**
- ・相手に配慮しながらアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしようとする。 **【主体的に学習に取り組む態度】**

(2) 学習の基盤

【単元観】

本単元は、アルファベット(大文字・小文字)の形やその読み方に慣れ親しみ、自分で工夫しながら表現することをねらいとしている。そのために、アルファベットをコマにしたABCすごろくに、イニシャルをヒントにした「友達だあれコーナー」を設け、すごろくを楽しみながら尋ねたり答えたりすることを単元のゴールの活動とする。

児童はアルファベットの読み方と国語科で学習したローマ字との違いに気付くと思われる。大文字と小文字のマッチングをすることで大文字・小文字の形に慣れ親しむ場とする。またすごろくのマスのアルファベットや友達のイニシャルを用い、繰り返し聞いたり読んだりすることで、どの文字であるか分かるようになることを考える。相手に配慮しながら尋ねたり答えたりする場を設定することで、積極的に友達と英語で関わろうとする児童の育成を図りたい。

【児童観】

… <個人情報保護のため省略> …

【指導観】 指導に当たっては、児童が見通しをもって学習に取り組めるように、学習のおおまかな流れを同じにしたり(学習展開スタイルのパターン化)学習の流れを掲示(見える化)したりしていく。Warm-upでは、毎時間ラッキーフリートーキング(LFT)を行い、色や形・数などの既習学習を用いたやりとりを繰り返すことで、児童が楽しみながら英語の力をつけていけるようにする。また、活動の前には必ずALTや担任のDemonstrationを行い、児童が自分の目指す姿をイメージして活動に取り組めるようにする。

本単元では、第1時こ、身の回りのものから小文字を見つけたり、大文字と小文字をつなげたりしながら、小文字の読み方を知る。第2時(本時)では、abcクイズで尋ねたり伝えたりする楽しさを感じるとともに、ローマ字との読み方の違いを意識して伝えることの大切さに気付かせる。自分が欲しい小文字を読み方に気をつけて伝えられるように、歌やクイズを取り入れアルファベットを発音する時間を持つ。また、相手に伝わるようにするためにはどうしたらよいかを工夫させたい。第3時こは、前時こで作ったabcクイズのカードをコマにしてABCすごろくを作り、ABCクイズのように尋ねたり伝えたりしてすごろくを楽しむ。第4時こは、ABCすごろくに友達コーナーを作る。友達の写真にヒントのイニシャルを入れるため、大文字を集める。第5時こでは、吉田小学校の友達との交流活動を行う。それぞれの学校で作成したABCすごろくを合わせ、活字体やその読み方に気をつけてやりとりをし、友達を紹介しながらすごろくを楽しむ。

単元全体を通し、abcクイズやABCすごろくなどの文字遊びを友達と一緒にしながら、英語で伝え合うことの楽しさを味わえる雰囲気を作りたい。読み方だけでなく、声の大きさや速さ、ジェスチャーなどの工夫も認めていく。その工夫は全体で取り上げるようにし、今後の外国語学習での活動に主体的に取り組もうとする態度につなげていくようにする。

(3) 表現・語彙

表現	Look. What's this? It's (A). Hint please. How many letters? I have (six). Do you have (a)? Yes, I do/ No, I don't. That's right. Sorry. Try again.
主な語彙	Look, letter, A~Z, a~z, try, again, one, two, three, four, five, six...

(4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身の回りにはたくさんのアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付くとともに、アルファベットを識別し、文字に慣れ親しんでいる。	アルファベットの形や読み方を理解し、文字クイズを出したり答えたりしている。	相手に伝わるように工夫しながらアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしようとしている。

(5) 指導と評価の展開計画 (全5時間 本時2/5)

ア：知識・技能

イ：思考・判断・表現

ウ：主体的に学習に取り組む態度

時	○ねらい ・主な学習活動	評価			主な評価規準 (評価方法)	
		ア	イ	ウ	評価規準	評価方法
1	○身の回りにはたくさんのアルファベットがあることや、ローマ字とアルファベットの読み方の違いに気付く。 ウォームアップ ・あいさつ ・歌“abc ソング” ・ラッキーフリートーキング デモンストレーション ・ABC すごろく (大文字) アクティビティ ・身のまわりアルファベット見つけ ・ABC 見つけ (大文字、小文字) ・小文字ビンゴゲーム ・マッチングゲーム (大文字、小文字) 振り返り ・振り返りカード	○			・身の回りにはたくさんのアルファベットがあることに気付いている。 ・ローマ字とアルファベット (小文字) の読み方の違いに気付いている。	行動観察 発言 振り返りカード
2 (本時)	○アルファベット (小文字) の形や読み方に気をつけて、尋ねたり答えたりする。 ウォームアップ ・あいさつ ・歌 “abc ソング” ・ラッキーフリートーキング デモンストレーション ・ABC クイズ (小文字) アクティビティ ・小文字ビンゴ ・abc クイズ (小文字) 振り返り ・振り返りカード		○		・アルファベット (小文字) の形や読み方に気をつけて、尋ねたり答えたりしている。	行動観察 発言 振り返りカード
3	○アルファベット (小文字) の形やその読み方に気をつけて尋ねたり答えたりする。 ウォームアップ ・あいさつ ・歌“abc ソング” ・ラッキーフリートーキング デモンストレーション ・ABC すごろく (小文字) アクティビティ ・abc クイズ (小文字) ・大文字・小文字を集めてすごろくを作る。 ・グループで ABC すごろくをする。 振り返り			○	・アルファベット (小文字) の形やその読み方に気をつけて尋ねたり答えたりしている。	行動観察 発表 振り返りカード

	・振り返りカード					
4	<p>○アルファベット（大文字・小文字）の形や読み方に気をつけて尋ねたり答えたりする。</p> <p>ウォームアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・歌“abc ソング” ・ラッキーフリートーキング <p>デモンストレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ABC すごろく（大文字、小文字、友達だあれコーナー） <p>アクティビティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字を集めて友達の写真にイニシャルを入れる。 ・ABC すごろくに「友達だあれコーナー」を作る。 ・ABC すごろくをグループでする。 <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカード 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット（大文字、小文字）の形や読み方に気をつけて尋ねたり答えたりしている。 	<p>行動観察 発表 振り返りカード</p>
5	<p>○相手に伝わるように気をつけながら、アルファベットの形やその読み方に気をつけて尋ねたり答えたりする。</p> <p>ウォームアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・歌“abc ソング” ・ラッキーフリートーキング <p>デモンストレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ABC すごろく（大文字、小文字、友達だあれコーナー） <p>アクティビティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校の友達と ABC すごろくを楽しむ。 <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカード 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるように気をつけながら、アルファベットの形や読み方に気をつけて尋ねたり答えたりしている。 	<p>行動観察 発表 振り返りカード</p>

（6）本時の展開

①ねらい アルファベット（小文字）の形や読み方に気をつけて、尋ねたり答えたりする。

【思考・判断・表現】

②展開

時間	児童の学習活動	教師の活動と支援		指導上の留意点 ◎評価規準 〈評価方法〉
		T1・T2	ALT	
7	<p>Warm-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ ○歌“abc ソング” ○ラッキーフリートーキング（じゃんけんゲーム） 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 Let's start English class! Hello, everyone. ・一緒に歌う。 ・ラッキーフリートーキングをする。 	<p>Today's lucky card を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや歌を通して楽しく学習する雰囲気を作る。
5	<p>Demonstration</p> <p>○T1 と ALT が小文字クイズ（わくわく小文字クイズ）を出し合う姿を見る。</p>	<p>What's this? That's right. /No, sorry. Ok. (ジェスチャーなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりとりをしながら小文字クイズを出す姿を示す。 	<p>It's (A) Hint please.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりとりをしながら小文字クイズに答える姿を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Demonstration を示すことで、児童が目指す姿(本時のゴール)をイメージできるようにする。
		<ul style="list-style-type: none"> ・何が隠れているか尋ねたり答えたりして、小文字クイズのやり方を示す。 		

	○めあての確認をする。	・めあてを確認する。	
		わくわく小文字クイズを作って、友達とクイズを出し合おう！	
15	<p>Activity</p> <p>○小文字ソングをする。</p> <p>○先生のブースに行って自分が欲しい小文字を伝える。</p> <p>○順番にブースに立ち、やりとりしながら小文字を尋ねたり伝えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>C: Do you have (a)? T: Yes, I do. C: (a) please. T: Here you are. C: Thank you.</p> </div> <p>○もらったカードを使ってクイズを作る。</p>	<p>自分の名前に使われているアルファベットの中から3文字選んでクイズを作ろう。</p> <p>T1・英語表現に困っている児童には、発音を聞かせたり一緒に発音したりする。</p> <p>T1・相手に伝わるように工夫している児童の姿を全体で取り上げる。</p> <p>T2・活動がスムーズにできるように支援学級の児童を中心に個別指導する。</p> <p>T1・わくわくするクイズにするために、文字の形に注目して隠す部分を考えるように声がけする。</p>	<p>・英語表現に困っている児童を中心に、発音を聞かせたり一緒に発音したりする。</p> <p>・ゲームの中で尋ねたり答えたりする表現をALTに続いて繰り返し使うことで、英語の表現に慣れ親しみ、自信をもって次の活動に取り組めるようにする。</p> <p>・人に伝えるために大切なことを確認し、それを意識しながら活動できるように声がけする。 (アイコンタクト) (クリアボイス) (スマイル)</p>
10	<p>○作ったカードを使って、尋ねたり答えたりしながら、abcクイズをする。(友達とクイズを出し合いカードを交換していく)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>A: What's this? B: It's (a). A: No. Sorry. B: Hint please. A:(ジェスチャーなど) B: It's (b) A: Yes. That's right.</p> </div> <p>○自分の持っているカードの中から、みんなにabcクイズを出す。</p>	<p>わくわく小文字クイズを出し合おう。</p> <p>・児童と一緒にやりとりをして、英語で伝え合うことの楽しさを味わう雰囲気を作る。</p> <p>T1・相手に伝わるように工夫しているところを認め、英語で伝え合うことへの意欲付けをする。</p> <p>T1・クイズを出し合っただけのことや、感じたことを児童と一緒に確認してから全体のクイズに入る。</p>	<p>・英語表現を認め、英語で伝え合うことへの意欲付けをする。</p> <p>◎アルファベット(小文字)の読み方を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・発表〉</p> <p>・英語を使って尋ねたり答えたりする楽しさを味わわせ次時への意欲付けをする。</p>
8	<p>振り返り</p> <p>○振り返りシートを記入し、発表する。</p>	<p>T1・机間指導をしながら、それぞれの気付きや頑張りを認める声がけをする。文字の形や特徴についての気づきがあれば、全体の場で取り上げる。</p> <p>T2・支援学級の児童と一緒に振り返りを行い、児童の頑張りを認める。</p> <p>・学習のまとめと振り返りをする。</p>	<p>・本時の学習の様子を振り返り、児童の頑張りを認める。</p> <p>・児童の気付きや思いを認め、次時への意欲付けをする。</p>

(7) 本時の評価

十分に満足と判断される児童の具体例	おおむね満足と判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
形や読み方を意識して、アルファベットを尋ねたり答えたりしている。	アルファベットを尋ねたり答えたりしている。	児童が困っている様子が見られたら、ALTの発音を聞かせて言い方を確認したり掲示で形を確認したりして、自分で伝えられるように支援する。

(8) 授業研究の視点

本時のねらいを達成するために、abcクイズを作り英語で尋ねたり答えたりする活動を設定したことは適切であったか。